全体構想図

児童の実態

地域の実態

教師の願い

**学校教育目標**

豊かな心と知性を持ち、健康でやる気のある21世紀に生きる子どもの育成

小学校学習指導要領

**目指す児童像**

○よさを認め心豊かな子（温かさ）

○よく考えよく学ぶ子（真剣さ）

○元気でやる気のある子（元気よく）

**研究主題**

**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進**

**～外国語活動および英語科を中心として～**

**仮説：ユニバーサルデザインの視点に立った授業展開の工夫をすれば、主体的･対話的で深い学びが実現され、子どもにとって「分かりやすい」「学びやすい」授業が展開できるであろう。**

 (2)多様な情報を収集する。

1. 日常的な話題などから、児童が知りたいと思うテーマを設定する。(焦)
2. テーマについての情報を聞き取る活動を設定する。(視)(動)

(3)思考を表現に置き換える。

1. テーマに関する考えを他者に伝える活動を設定する。(動)(共)
2. 受け手を明確にし、まとまりのある文章を書くための手本となる文章を例示する(視)

(4)多様な手段で説明する。

1. 声の大きさや速さ、ジェスチャー等のモデルを示す。(視)(動)
2. 互いに助言できるような、ペアやグループ等の学習形態を工夫する。(共)
3. イラストや写真、絵や実物などを用いて発表する場面を設定する。(視)(動)
4. **「深い学び」の実現**
5. 知識・技能を活用する。
6. 会話が続けられるよう、既習の慣用表現やつなぎ言葉などを例示する。(視)
7. 新出語句や表現を、既習語句や表現に言い換える。
8. 自分の思いや考えと結び付ける。
9. 想起される事柄をマッピングなどで整理する活動を行い、自分の意見をまとめる。
10. 思考して問い続ける。
11. テーマに対する自分の考えをまとめた後、対話を通して情報を得、さらに自分の考えを再構築する。(共)
12. **「主体的な学び」の実現**
13. 興味や関心を高める。
14. ALT等を活用し、コミュニケーションのモデルを示す。(視)
15. コミュニケーションの目的や場面、状況を閉める示すイラスト、写真、図表などを活用する。(視)
16. コミュニケーションに必要性を感じられる活動を設定する。(焦)

 (2)見通しをもつ。

1. 学習到達目標を基にどのような力をつけたいかを、児童と共有する。(焦)
2. 単元のゴールの言語活動を児童の前で実演する。(焦)(視)

(3)自分と結び付ける。

1. 場面設定をする際、児童がイメージしやすい日常的な話題を取り上げる。(視)(焦)
2. 他教科等で学習した内容などを基に、書いたり話したりすることができる活動を設定する。(焦)

(4)振り返って次につなげる。

1. 発表の際、互いに評価し合い、自分の発表を振り返る時間を設ける。(共)
2. 単元のゴールの言語活動を、目標の観点から振り返る活動を設定する。(共)
3. **「対話的な学び」の実現**
4. 互いの考えを比較する。
5. 考えや気持ちを伝え合う活動を設定する。(共)
6. 他者から得た情報や意見を基に、自分の考えをまとめる時間を設ける。(共)

**研究推進の具体策**